

人1台の端末配置とともに、5G※による高速大容量の通信環境が想定されて

ギガ ファイブジー
GIGAスクール構想と5G

給食センター建て替え問題

上村「要求水準書」を確実に実現できる業者選定が必要です

第3定例会

總務文教委員會

に対する「要求水準書」を作成しました。

老朽化した学校給食センターの建て替えは、P.F.－方式による建設・運営の方針が3月議会で通ったことを受け、市教委は、実績ある研究者も入った評価委員会を立ち上げて、受託業者

議会には給食センター整備運営事業18年間分63億円弱の債務負担行為の補正予算が提案され、賛成多数により採択されました。

いいます。上村はその導入について教育・健康への影響を懸念し、質問しました。

※5G（ファイブジー）＝第5世代の移動通信システム＝高速大量・高信頼・低遅延・多数同時接続という特徴を持つが、電磁波による健康へのリスクやセキュアティの問題も指摘されている。

「ヨーロッパが重要な
で、ICT環境が整った後
もこれらを大事にしたい。
5Gの電波が健康被害をも
たらす公式発表はないが民
間レベルの心配される例は
認識している。国立市の通
信ネットワークは各教室ま
で有線であり、児童生徒が
直接受信するとはない。
今後も情報収集を行ってい
く」と答弁しました。

古川課長 複数の事業者から質疑があるので、要求水準を達成できる事業者がいると考える。業者からの提案書に一つでも達成できな
い項目があるときは、その業者は選定されない仕組み

への給食提供、災害時の給食提供、食育の補助事業、地域交流なども含み作成された。これを確実に実現できる事業者を選ぶ必要がある。それは可能か。

にある予定。

第3定例会 決算委員会

上村の考え方　具体的な根拠・実例がないところ、事業者が本物であるか見極めるのは困難です。優れた「要求水準書」ができるても、実際にそれを実現できる事業者が本当に選定できるといつ確信は、総務文教委員会の答弁から得られませんでした。

第3定期会

決算委員会

19年度決算について上
村は「不認定」としました
が、理由の一つは、給食センタ一建て替えの問題です。

市民や議会からの働きかけで、食育基本計画は策定されるようになりました。要求水準書には、さまざまな条件が付加されました。初めから、開かれた議論がなされ

岐にねたるお話をした。
市内在住重度しょうがいしゃ
三井繩子さんとの対談もあり、
上村はその同会を務めました。

ていたなら、長年印を委託
おへいじにならのICO方式
ではない、限りなく直営に
近い、食の財団方式などを
選べたと喜んでいます。

今からでも修正できる道
はないか、探りたいと思いま
す。

参議院議員木村英子さん講演会開かれる 「隠された差別から群衆の差別へ」



左から、上村、介護者に囲まれて三井さん、木村さん、介護者